

2025さっぽろホワイトイルミネーション 2025ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo

会 場	会 期
大通会場	11月21日(金) ~12月25日(木)
駅前通会場	11月21日(金) ~2026年2月11日(水・祝)
南一条通会場 札幌市北3条広場会場 札幌駅南口駅前広場会場	11月21日(金) ~2026年3月14日(土)



2025さっぽろホワイトイルミネーション

大通会場(1～5丁目)



駅前通会場



南1条通会場



北3条広場会場



札幌駅南口 駅前広場会場



2025 ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo



2025さっぽろホワイトイルミネーション 2025ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo

■新しい取り組み・見どころ

「Hopeful Lights」と題し、
ムービングライトを活用した
スペシャルライトショーを実施

期間：12月5日（金）～7日（日）

会場：大通公園4丁目



●「2025さっぽろホワイトイルミネーション(第45回)」
「2025ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo(第24回)」について

大通公園をメイン会場に、11月21日（金）から2026年3月14日（土）まで「2025さっぽろホワイトイルミネーション」を開催します。札幌を象徴する「雪」と「光」の魅力を発信しており、札幌の冬をロマンチックに彩る「光の芸術」を、多くの市民・観光客の皆さまに楽しんでもいただきたいと考えています。

また、大通公園西2丁目では11月21日（金）から12月25日（木）まで「2025ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」を開催します。国内外から32店舗が出店し、ドイツのホットワイン「グリューワイン」やドイツ料理、クリスマス雑貨などを販売するほか、ドイツの雰囲気を感じることのできるさまざまなイベントを実施します。

1 2025さっぽろホワイトイルミネーションについて

(1) 会場・会期（各会場コンセプトは別紙参照）

会場	会期
大通会場（大通西1～5丁目）	2025年11月21日（金） ～12月25日（木）【35日間】
駅前通会場（北4条～南4条）	2025年11月21日（金） ～2026年2月11日（水・祝）【83日間】
南一条通会場（南1条通西1～3丁目）	2025年11月21日（金） ～2026年3月14日（土）【114日間】
札幌市北3条広場（アカプラ）会場 （北2条西4丁目・北3条西4丁目）	
札幌駅南口駅前広場会場（北5条西3丁目）	

(2) 点灯時間・使用電球個数

① 点灯時間

- ア 大通会場：16：30～22：00 ※12月23日(火)～25日(木)は24：00まで
- イ 駅前通会場：16：30～22：00 ※12月23日(火)～25日(木)は24：00まで
- ウ 南一条通会場：16：30～22：00 ※12月21日(日)～25日(木)は24：00まで
- エ 札幌市北3条広場（アカプラ）会場：16：30～22：00
※期間中、日没時間に合わせて開始時刻を変更
- オ 札幌駅南口駅前広場会場：16：30～24：00
※期間中、日没時間に合わせて開始時刻を変更

② 使用LED数：約77万個

2 2025ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporoについて

- (1) 開催期間
11月21日（金）～12月25日（木）（35日間）
- (2) 開催時間
11：00～21：00（飲食店のラストオーダー20：45）
- (3) 会場
大通公園西2丁目
- (4) 出店舗数

	海外出店者	国内出店者	合 計
物品販売店	0店舗	17店舗	17店舗
飲 食 店	2店舗	13店舗	15店舗
合 計	2店舗	30店舗	32店舗

(5) 各種イベント等

①シンボルオブジェ

2018年度から設置している「Gift of Snow」から各ブース上空でロープライトをつなぐ光の演出を実施。今回から新たに色が変わるLEDを使用することで、フォトジニックな空間を演出する。

②各種イベント

屋外ステージや屋内パビリオンにおいて、ドイツ文化発信や国際交流、クリスマスの雰囲気醸成するイベントやワークショップを多数実施するほか、毎週日曜日には店舗利用者に抽選でサンタクロースからプレゼントを行う「プレゼントデー」も実施。

③オリジナルグッズ販売

定番のオリジナルマグカップやマスキングテープ、コースター・缶バッジなどのオリジナルグッズを製作し、会場内で販売する。
また、オリジナルマグカップとグリュウワイン・ホワイトショコラのセット販売も実施する。

④謎解きイベント

クリスマス市会場を含む、イルミネーション大通会場内を周遊し、さっぽろホワイトイルミネーションにおける環境に配慮した取り組みなどの理解を深めてもらう謎解きイベントを実施する。

⑤姉妹都市紹介パネルの設置

ヴァイナハツパビリオン内に札幌の姉妹都市であるミュンヘン市の紹介パネルを設置し、来場者へ札幌市の国際交流の取り組みを紹介する。

(6) 市民参加の取り組み（食器洗浄ボランティア）

公募によるボランティアに、会場で使用するリターナブル食器の回収や洗浄を行っていただく。（ボランティア申込期間：10月31日～12月24日）



3 オープニングセレモニー

- (1) 日時：11月21日（金）16：30～
- (2) 場所：大通公園西3丁目「ウィンター・ブロッサムズ」前
- (3) 内容：主催者あいさつ、開催宣言、点灯カウントダウン、コラボレートソングの紹介

4 環境に配慮した取り組み

(1) LEDの使用

会場で使用する全ての電球について、白熱電球に比べて消費電力が少ないLEDを使用する。

(2) バイオディーゼル燃料発電／使用済み食用油の回収

大通公園に発電機を設置し、大通会場1丁目で使用する電力を自家発電で賄うほか、燃料には軽油に代わって、家庭や企業から回収した食用油から作られる「バイオディーゼル燃料」を使用する。また、会期中は大通西2丁目ミュンヘン・クリスマス市会場内において市民から使用済み食用油を回収しリサイクルすることで、環境に優しい地域参加型のエコ・イルミの実現を目指す。

(3) リターナブル食器／ライスレジン食器の使用

ゴミの削減を図るため、ミュンヘン・クリスマス市の飲食物提供には、洗浄し再利用できるリターナブル食器を使用する。従来のメラミン素材の食器から、お米由来の国産バイオマスプラスチックを使用したライスレジン製のリターナブル食器への切り替えを進める。

(4) ペレットストーブの設置

ミュンヘン・クリスマス市会場内パビリオンの暖房には、間伐材を活用した木質ペレットを燃料として使用し、環境負荷が少ない木質ペレットストーブを設置する。

(5) カーボンオフセットの実施

会場で使用される電気やポスター・ガイドブック印刷にかかるCO₂排出量に相当するクレジットを購入し、北海道内のCO₂削減活動の支援を行う。

(6) ボタニカルライトクリスマスツリーの展示

ミュンヘン・クリスマス市会場パビリオン内に、植物と共存する微生物が生命活動をする際に、土や水の中で放出される電子を利用して発電するボタニカルライトを装飾したクリスマスツリーを展示する。エコ・イルミネーションの活動として、CO₂の排出削減とともに、ボタニカルライトの今後の更なる実用化に向けて貢献する。

(7) More Stars（気象・環境条件により変化するイルミネーション）の設置

来場者が気象環境の変化について考える機会となるように、気温と湿度のデータをリアルタイムで取得し、その数値に応じて光の色や演出が変化するオブジェを大通会場5丁目に設置する。また、オブジェの電源にはソーラーパネルによる太陽光発電を一部活用する。

【問い合わせ先】

さっぽろホワイトイルミネーション実行委員会事務局（札幌観光協会内） 山上・小川
電話：281-6400、ファクス：231-1970
経済観光局観光・MICE推進部観光・MICE推進課 大内・湯川
電話：211-2376、ファクス：218-5129

「2025さっぽろホワイトイルミネーション」の会場コンセプト

1 大通会場（1～5丁目）

① 1丁目会場「羽ばたきの『ウィッシュ・バース』」

ゴールドを基調としたオブジェやグランドイルミネーションで、華やかなテレビ塔とのコントラストに加え、札幌市の鳥である「カッコウ」のモチーフを取り入れることで、より札幌らしさを意識した会場構成とする。

【新規】西側のフォトスポットに、人が立つたびに羽のオブジェがさまざまな色に変化する演出を追加するほか、ガーランド（ゲート）オブジェを新たに設置する。



② 2丁目会場「2025ミュンヘン・クリスマス市 in Sapporo」

2018年度から設置している「Gift of Snow」から各ブース上空でロープライトをつなぐ光の演出を実施。

今回から新たに色が変わるLEDを使用することで、フォトジニックな空間を演出する。



③ 3丁目会場「彩りの『ウィンター・ブLOSSAMZ』」

人気のライラックシンボルオブジェが、札幌の花スズランや北海道の花ハマナスとコラボレーション。イルミネーションはパープルシーンだけでなく、ブルーシーンやレッドシーンなど5色の展開で、動きと変化によるさまざまな表情を見せる新しいシンボルオブジェとする。

【新規】中央のシンボルオブジェに施す光の演出を、従来の単色の色の変化から、より多彩な色の変化を表現できる形にバージョンアップする。



④ 4丁目会場「夢見る『スノー・ファンタジア』」

雪の結晶をモチーフにした光のトンネルを設置し、幻想的な雪の回廊を表現する。外から見たときの白と緑を基調とした光の演出を見て、実際に光のトンネルの中を通り抜ける体験をすることで、よりイルミネーションへの「没入感」を感じられる会場とする。

【新規】オブジェや中央の噴水部分などに光をあてる演出を新たに追加するほか、12月5日（金）～7日（日）の3日間限定で「Hopeful Lights」と題し、ムービングライトを活用したスペシャルライトショーを実施する。



⑤ 5丁目会場「星降る『コズミック・スクエア』」

星や宇宙をモチーフに、インタラクティブな仕掛けを核とした体験・体感型の広場とする。透明なドームには光る球体が散りばめられ、人の動きに反応してドーム内の光の演出がはじまり、会場内に散りばめられたフレームドームとシャイニングボールが一体感のある会場を演出する。湿度や温度によって光の色・演出が変化するオブジェ「More Stars」も設置する。

【新規】会場全体に白く輝くシャイニングボールを14個増設する。



2 駅前通会場

JR札幌駅前からすすきのまでの中央分離帯の立木に、約22万個のLEDで装飾し、札幌の冬のメインストリートとする。また、大通の中央分離帯の立木はクリスマスカラー等のカラフルな演出で彩る。



3 南一条通会場

南一条西1丁目～3丁目間の、南北歩道両脇の46本の街路樹（イチョウ）に、約7万個のLEDで華やかに装飾する。まばゆい光で美しく輝く約300mの光の道を幻想的に演出する。



4 札幌市北3条広場（アカプラ）会場

「アカプライルミネーション」

「City Aurora」をテーマに、イルミネーションの輝きと変化を都市型のオーロラとして表現する。今年リニューアルオープンした道庁赤れんが庁舎を背景に、装飾された銀杏並木がアカプラに幻想的な空間を生み出す。



5 札幌駅南口駅前広場会場

「サツエキイルミネーション」

イルミネーションで彩られた中に現れる「光の花」。期間中4回変わる音と光の演出プログラムが見る人の心をあたためる。今年は色とりどりにイルミネーションがさまざまな模様を表現するカラーウォールなど、新たに2コンテンツを追加して開催。

